

東京カテドラルで聴く

St. Mary's Cathedral, Tokyo

# クリスマス・コンサート 2024

## Christmas Concert

天から降りそそぐ“パイプオルガン”の音色と  
荘厳な大空間に“声”と“弦”が響きわたる特別な一夜！

### 〈プログラム〉

#### 第一部 祈りと感謝

(パイプオルガンソロ)

J.S.バッハ：トッカータとフーガニ短調 BWV 565

(ヴォーカル・アンサンブル)

ラフマニノフ、J.S.バッハ／グノー：アヴェ・マリア  
モーツアルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス

(パイプオルガンソロ)

カッチーニ：アヴェ・マリア

(ヴァイオリンソロ)

J.S.バッハ：「サラバンド」

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より

(弦楽四重奏)

ベートーヴェン：「神への聖なる感謝の歌」

弦楽四重奏曲 第15番より 第3楽章



#### 第二部 クリスマスの楽しさと未来によせて

(パイプオルガンソロ)

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ

(ヴォーカル・アンサンブル)

We wish You a Merry Christmas!  
神の御子のイエス様は、ディンドン、  
Lully, Lulla, Lullay、ホワイト・クリスマス

(弦楽四重奏)

モーツアルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章

チャイコフスキー：「アンダンテ・カンタービレ」

弦楽四重奏曲 第1番より 第2楽章

ジョン・レノン：ハッピー・クリスマス

讃美歌：アデステ・フィデレス（神の御子は今宵しも）

※ 曲目、曲順は都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



富田一樹（パイプオルガン）  
© 加納典明



ヴォーカル・アンサンブル AcappelLabo



崎谷直人（ヴァイオリン）  
崎谷カルテット  
© JUNICHIRO MATSUO

9月8日(日)  
一般発売

2024年12月6日(金) 19:00 開演(18:15 開場)

東京カテドラル 聖マリア大聖堂

〈ご予約・お問い合わせ〉

チケットスペース 03-3234-9999

S席:6,000円 A席:5,000円 (全席指定・税込) ※未就学児入場不可。

チケット取り扱い チケットぴあ <https://pia.jp/> セブン-イレブンで直接販売

ローソンチケット <https://l-tike.com/> ローソン、ミニストップで直接販売

イープラス <https://eplus.jp/> ファミリーマートで直接販売

主催:アルス東京

制作協力:インターバースペース

チケットスペースオンライン 検索

# 優しく温かな音色が教会を包みこむ東京カテドラルのクリスマス 東京カテドラルで聴くクリスマス・コンサート 2024

東京カテドラル聖マリア大聖堂と一体となった日本最大級のパイプオルガン。

莊厳な大空間、静寂さ、天から降る音楽、その神秘的な輝きと美しさはまさに別世界です。

2006年より続く東京カテドラルで聴くクリスマス・コンサートは、コロナ禍での休止を経て、今年5年ぶりに開催、15回目を迎えます。

待望の復活を期して実力派アーティスト達が集まりました。

バッハ国際コンクールをはじめ、数々の受賞歴を持ち、幅広く活動を続ける日本オルガン界の第一人者 富田一樹。

バッハ、カッチーニといった、カテドラルのパイプオルガンだからこそ聴きたい曲、

また、この季節を盛り上げる華やかな楽曲も演奏いたします。

日本の室内楽、オーケストラ界で活躍、気鋭のソリストとしても注目されるヴァイオリニスト 崎谷直人は、大聖堂での響きを生かしたソロ演奏、バッハの無伴奏パルティータ「サラバンド」で魅了。

崎谷のカルテットとともに演奏されるベートーヴェン、モーツアルト、チャイコフスキーなど美しいメロディーもお楽しみください。

様々な時代、編成の合唱音楽の素晴らしさを伝える活動が顕著な声楽家、富本泰成。

彼が率いるヴォーカル・アンサンブル AcappelLaboは、

アヴェ・マリアなどの宗教曲からクリスマスのポピュラーな歌の数々まで、歌、声の魅力をたっぷりとお届けいたします。

パイプオルガン、ヴァイオリン、弦楽四重奏、そしてヴォーカル・アンサンブルが大聖堂に響き渡る唯一無二のコンサートにご期待ください。

富田一樹 〈パイプオルガン〉

Kazuki TOMITA, Organ



© 加納典明

大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。その後リューベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。2016年ライプツィヒ第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。バロック音楽を得意とし、国内外でレクチャーコンサートをはじめ数多くの演奏会に出演すると共に、YouTubeではパイプオルガンを紹介する活動も行う。2024年4月から

神戸女学院大学の非常勤講師を務める。(一社)日本オルガニスト協会会員。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」等を受賞。ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。関西を拠点とした全国各地での広い活動とオルガン音楽の普及への尽力が認められ「2023年度(令和5年)大阪文化賞」を受賞した。

崎谷直人 〈ヴァイオリン〉

Naoto SAKIYA, Violin



© JUNICHIRO MATSUO

1998年ノボシビルスク国際コンクールジュニア部門第1位、メニューイン国際コンクールジュニア部門第3位を獲得し、ケルン音楽大学に最年少15歳で入学。その後パリ市立音楽院、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、バーゼル音楽院修了。2006年にウェールズ弦楽四重奏団を結成。第1ヴァイオリン奏者として、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門、大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門にて各3位を獲得。2014年より8年間、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターを務めた。現在は、全国のオーケ

ストラに客演コンサートマスターとして多数出演する他、ウェールズ弦楽四重奏団、石田泰尚とのヴァイオリンユニット「DOS DELFIDDLES」、リサイタルなど幅広い演奏活動を展開している。2023年11月には、「ラームス・ヴァイオリン・ソナタ全3曲」(fontec)をリリース、12月には自身が代表を務める新レーベル kKy recordsより「Re:Vivaldi」をリリースしレコーディングにも意欲的に取り組んでいる。

## 〈崎谷カルテット〉

第一ヴァイオリン：崎谷直人 / 第二ヴァイオリン：桜田悟

ヴィオラ：坂口昂平 / チェロ：門脇大樹

富本 泰成 〈テノール、カウンターテナー〉

Yasunari TOMIMOTO, Tenor



東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。在学中には声楽アンサンブル「harmonia ensemble」に参加し、2011年第40回トゥール国際合唱コンクール(フランス)でグランプリ受賞。2013年には南フランス国際合唱フェスティバルに出演。「歌譜喜」をはじめとした3つの声楽アンサンブルを主宰するほか、「ヴォーカル・アンサンブル カベラ」などにも所属。2018年より東京混声合唱団のレジデントメンバーに就任。

## ヴォーカル・アンサンブル AcappelLabo

富本泰成が主宰する演奏団体「歌譜喜」「八重桜」「emulsion」の所属メンバーを中心に、今回の演奏会のために特別に混声8名で編成された声楽アンサンブル。



大澤桃佳 (ソプラノ)



對馬香 (ソプラノ)



濱戸翔吾 (カウンターテナー)



田中 寛 (カウンターテナー)



渡辺研一郎 (テナー)



谷本喜基 (ベース)



松井永太郎 (ベース)



- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」(出口1a)より徒歩15分
- JR山手線「白駅」より都営バス白61系統「新宿駅西口行き」「ホテル椿山莊前」下車徒歩1分